

校報かめのこ

福生六小ホームページ <http://fussa-6e.hs.plala.or.jp/>

か	考える子
め	めげない子
の	伸びる子
こ	心豊かな子



子どもにも言い分がある

福生市立福生第六小学校
校長 富永 大優

新しい学年が始まり、ひと月が経ちました。木々も瑞々しい緑になり生命の息吹を感じるこの頃です。子どもたちも新しいクラスにも慣れ、担任とともに学習に励んでいます。5月は、個人面談があります。子どもたちのよりよい成長のために、ともに話し合えればと思っております。お忙しい中とは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、先日、大学生の子どもが遅くに帰ってきました。私は思わず「遅すぎないか。早く帰ってきなさい」というようなことを言ったと思います。すると、当人は聞こえているはずですが、返事もせず自分の部屋に行ってしまいました。バツが悪いのか、言われて腹立たしいのか分かりませんが、私もその態度に少しムッしたのを覚えています。その日の会話は、夜遅いこともあり、それで終わりました。翌朝の朝食のとき、当人は気持ちも切り替わり、実は昨日…と話し始めました。聞いてみると、乗車した電車がかなり遅延し、乗り継ぐ電車の最終に間に合わなかったということでした。親としては心配のあまり、夕べは本人の姿を見るなり思わず言ってしまいました。当人にはちゃんと理由がありました。心配だったことを伝え、まずは本人の話の聞けばよかったと反省しました。そして、もっと子どものことを信用してあげればよかったとも思いました。

よくよく考えると自分もまだ親元で過ごしていた頃、同じようなことで、親にそっぽを向いたことがあるのを思い出しました。そのときは、我が子と同じで、確かに自分にも言い分がありました。ですが、大人になり、いつの間にか、自分も親に対してそう感じていたことをすっかり忘れていました。なんだか少し寂しい感じです。もちろんいけないことはいけないと言わなくてははいけません。ですが、我が子の今回のことを通して、子どもにも言い分があるのだから、まずは聞くことが大切なのだと改めて思いました。そして、昔、自分が親にして欲しかったこと、言って欲しかったこと、聞いて欲しかったことを振り返ってみようとも思いました。まずは子どもの言い分を聞くこと、気持ちを考えることから理解は始まるのかもしれない。

パソコンなどの情報機器の安全な使用について

授業も本格的に始まりました。今後は、タブレット型端末の授業等での活用も多くなってきます。年度当初にあたり、学校でもタブレット型端末の使い方に関するルール確認していきます。各御家庭でもインターネットやSNS、電子メール等の家庭のルールを子どもと一緒に確認していただき、安全に使うよう御指導ください。